



FUCHU

支部長交代 宮崎さんから殿元さんへ

5月の総会では、6年間お務めくださった宮崎孝直支部長（高20回 昭和44年卒）が勇退、後任には高25回 昭和49年卒の殿元清司さんが東京支部の支部長となりました。

皆さん、こんにちは。

令和5年5月の支部総会において宮崎前支部長の後任として東京支部長に就任しました殿元清司（S49年卒、バレー部）です。微力ではありますが諸先輩が築いてこられた歴史ある東京支部の発展に向けて頑張りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。



東京支部は約1000人の同窓会員を擁し、毎年5月の第4土曜日に総会・懇親会を催している他、同じ趣味を持つ同窓生の皆さんが気楽に参加できる取り組みとして、「カーブ観戦同好会」、日本酒を愛する「ポン酒同好会」、「ゴルフ同好会」を実施しています。

また今年は卒業年の近い若い世代が参加しやすい取り組みとして、神田小川町にある府中市アンテナショップ「お好み焼きNEKI」を開催場所として「プチ・プチ同窓会」も始めました。

仕事や家庭生活の都合でまだ同窓会活動に参加されたことのない皆さんも多いと思いますが、府中高校卒で結ばれた先輩、後輩、同期生との心地よい人間関係を生活の一部に取り入れてみませんか？

きっと楽しいひと時になると思います。

新任・退任幹事の一覧（敬称略 （ ）内は卒業年 Hは平成）

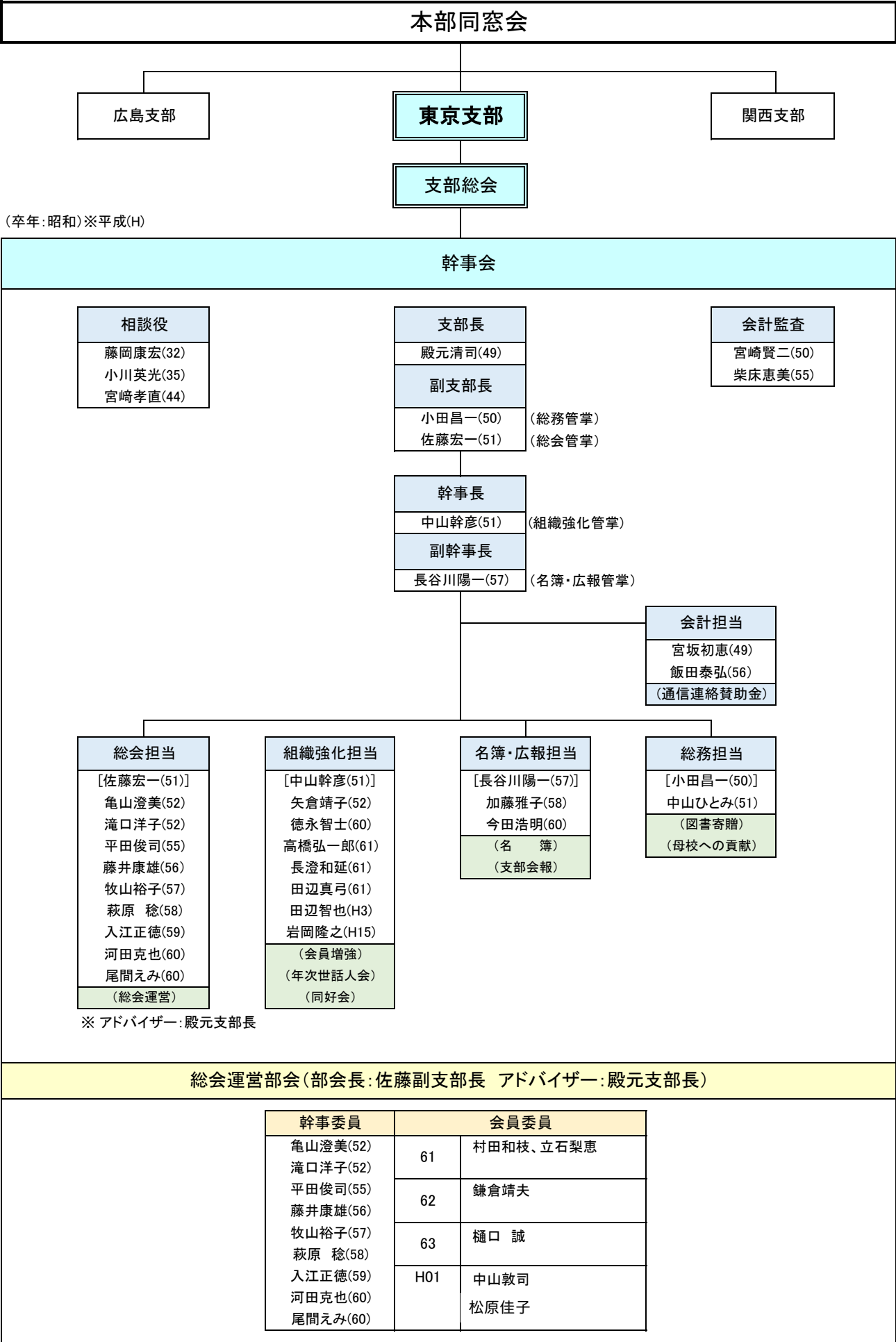
担当役務	新任	退任
支部長	殿元清司（49）	宮崎孝直(44)
副支部長	小田昌一（50）、佐藤宏一（51）	今川修吉（47）
会計監査	宮崎賢二（50）、柴床恵美（55）	寺岡暉人（40）、川部武郎（42）
総務	中山ひとみ（51）（組織強化より）	植松晴美（57）
組織強化	矢倉靖子（52）（名簿・広報より） 長澄和延（61）、田辺真弓（61） 岩岡隆之（H15）	
総会	入江正徳（59）、河田克也（60）、尾間えみ（60）	村田仁美（55）

退任された皆さま、長年にわたり支部活動にご尽力いただき本当にありがとうございました。



広島県立府中高等学校同窓会東京支部
令和5年度組織図

2023.7.22



同好会のご紹介

東京支部で現在活動中の3つの同好会についてご紹介します。

カープ観戦同好会

世話人：田辺智也（平成3年卒）

連絡先：hiroshima.fuchu.hs.carp@gmail.com

会員数：41名（男性28名、女性13名）

卒業年：昭和40年～平成25年

年2回（春と秋）天候に左右されない東京ドームでカープを応援します。令和5年の観戦結果は1勝1敗。有志での二次会もありますよ～！

ここからメールをお待ちしています。



ぱんしゅ同好会

世話人：加藤雅子（昭和58年卒）

連絡先：adsophia@jcom.home.ne.jp

会員数：31名（男性26名、女性5名）

卒業年：昭和38年～平成2年

皆で楽しく飲もう！日本酒ファンにはたまらないイベントを次々と企画しております。令和6年1月か2月には、酒蔵ツアーを予定。令和5年8月は池袋西口の瀬戸内料理「雑草庵」で暑気払い



ゴルフ同好会

世話人：今川修吉（昭和47年卒）

連絡先：shu.imagawa@kpb.biglobe.ne.jp

会員数：27名（男性25名、女性2名）

卒業年：昭和26年～平成15年



年に2回開催（土曜日）。プレー代その他、参加費2,000円。新ペリアで順位を決めます。第4回大会は10月21日土曜日 南摩城CC（栃木県）。優勝は、昭和60年卒 宮本さんでした。令和6年春は5月18日土曜日の予定です。

同好会ではありませんが、こちらも ☺

NEKIでプチ・プチ同窓会

まず卒業年次の近い人同士、5人から10人位で、備後府中市のアンテナショップNEKIで呑みませんか？ 土曜日のお昼から2時間、飲み放題です。

同期で人数を取りまとめてこちらへメールください。

hiroshima.fuchu.hs.petitpetit@gmail.com



オネスト会

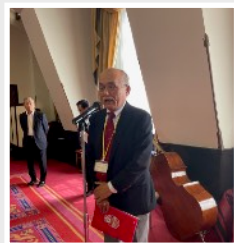
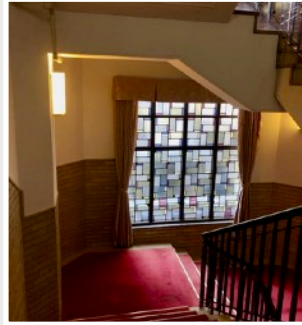
茨城県常陽カントリー倶楽部で年3回開催（平日）。令和5年11月15日の26回大会は昭和57年卒 長谷川さんが優勝。4つの隠しホールと自己申告したNETスコア（オネストジョ）で順位は最後までドキドキ。



総会は少し敷居が高いとお感じの方も、同好会ならきっと（笑）。また、ご自身で新たに同好会を立ち上げてくださるのも大歓迎です。ご連絡は幹事長 中山幹彦まで（nakamiki0825@gmail.com）

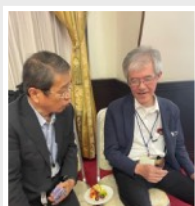


令和5年度 東京支部総会・懇親会（於 学士会館）



アトラクションは、昭和63年卒 樋口 誠さんと樋口さんの奥様、そしてご友人による弦楽三重奏でした。
読売日本交響楽団のコントラバス奏者である樋口さん、ご多忙の中、本会ならではの選曲・編曲をしていただき、本当にありがとうございました。





たくさんの笑顔に会えました。ありがとうございました。

令和5年度 東京支部総会 出席者一覧

(卒業年毎 順不同 敬称略 (かつこ内は旧姓))

24年卒 松坂 隆之	鴨田 幸信	藤原 善充	青山 滋之	56年卒 苅部 滋子 (藤木)	古賀 仁美 (大畑)	古川 慎治 中塔 晃弘
26年卒 宅味 大治 藤村 宏幸	41年卒 宮本 武則	48年卒 脊尾 宜徳 田部 啓治 黒河 宏之 田中 義正	52年卒 亀山 澄美 (菊岡) 児玉 学 谷本 磨諭子 (石部) 矢倉 靖子 (佐々田) 連下 佳代子	57年卒 宮下 律江 (出原) 渡邊 俊之 高尾 尚志 松田 吉紀 牧山 裕子 (重政) 鎌田 純子 (中尾) 加藤 潤子 (栗田) 舩元 仁志 高橋 典之	60年卒 今田 浩明 尾間 えみ (三船) 河田 克也 徳永 智士 大西 久美子 (赤川) 竹尾 友子 (助迫) 宮本 弘康 麻生 三奈 (延岡) 矢部 輝美	H1年卒 松原 佳子 (棗田) 中山 敦司 H3年卒 田辺 智也 加納 孝彦 H4年卒 皿田 具巳
29年卒 宮原 是中	44年卒 藤広 信良 宮崎 孝直 児玉 慶三	49年卒 殿元 清司 平川 正志 本宮 正暁 宮坂 初恵 (福地) 宮脇 功	53年卒 菊地 真由美 (桐島) 江草 稔 石橋 正文	58年卒 木川 晃子 (能宗) 大下 龍蔵 児玉 和久 和田 依子 加藤 雅子 (瀬尾) 萩原 稔 石川 睦美 (堀内)	61年卒 高橋 弘一郎 亀岡 弘 田辺 真弓 長澄 和延 立石 梨恵 村田 和枝 (川上) 石黒 貴志	H15年卒 岩岡 隆之 松岡 徹磨 皿田 修一 大崎 崇敦 H25年卒 栗田 拓哉
36年卒 太田 恵子 (佐藤) 買原 雅恵 (木下) 菊岡 和俊 桑田 制三 五阿彌 延衣 広川 克郎 新城 鉄美	45年卒 日谷 伸児 高橋 宏 小川 修司	50年卒 小田 昌一 宮崎 賢二 増川 達雄	54年卒 平山 八広 坂元 誠司		62年卒 鎌倉 靖夫	
38年卒 佐藤 義雄	46年卒 佐藤 信之	51年卒 佐藤 宏一 服部 修二 中山 ひとみ 金子 由紀子 (馬場) 中山 幹彦 松岡 信宏	55年卒 小野 恵美 (柴床) 谷口 典子 (横山) 村田 仁美 (檜崎) 平田 俊司 池田 義典 栗根 康浩		63年卒 樋口 誠	
40年卒 小原 匡世 木村 茂治 寺岡 暉人 錦古里 素子 (佐藤)	47年卒 今川 修吉 大浦 敬之 影山 修一 藤木 利明					

訃報

謹んで哀悼の意を表します

17年卒
松本 洋二様
30年卒
能島 小枝子様 (永久)
37年卒
柏原 宣晃様

40年卒
森棟 純子様 (木村)
42年卒
檜崎 憲安様

通信連絡賛助金を頂戴した皆さま (令和4年度4月1日から令和5年3月31日まで)

(卒業年毎 順不同 敬称略 (かつこ内は旧姓))

21年卒 大山 寿	小川 英光 高橋 通央 小川 博靖	錦古里 素子 (佐藤) 木村 茂治 高島 明子 (山崎)	46年卒 佐藤 信之 杉山 鈴香 (戸田)	50年卒 増川 達雄 富永 博敏 小谷 明美 (杉原) 小田 昌一 野村 祥子 (福田) 宮崎 賢二	小川 由美子 (柿本) 宮 毅	58年卒 加藤 雅子 (瀬尾) 名越 美保 (山口)
22年卒 大塚 欣二	36年卒 末村 正義 桑田 制三 徳田 典文	41年卒 品川 裕明 萩原 洋子 (木下) 宮本 武則	47年卒 大浦 敬之 田辺 吉昭 田辺 俊美 (神原) 森田 育宏 田中 加代子 (橋高) 橋本 幸一 山上 明美 (中居)	51年卒 佐藤 宏一 中山 幹彦 中山 ひとみ 松岡 信宏 小林 達志 金子 由紀子 (馬場)	54年卒 中村 豊 平山 八広	60年卒 今田 浩明 河田 克也 徳永 智士 村田 令子 (掛江) 矢部 輝美 (石岡) 比羅岡 亮
24年卒 松坂 隆之					55年卒 小野 恵美 (柴床) 村田 仁美 (檜崎) 平田 俊司 岡部 美保 (河本)	61年卒 田辺 真弓 高橋 弘一郎
26年卒 藤村 宏幸	37年卒 金田 邦彦 神谷 俊男 高杉 玲子 (桑田) 香山 拓子 (瀬尾) 前川 雪子 (白井)	42年卒 川部 武郎 奥田 操 高尾 進 木原 政子 (猪花) 石川 みちえ (千葉)	48年卒 藤原 和子 (青山) 東 千明 (小田) 五十嵐 志津 (栗栖)	52年卒 若松 孝文 花山 照子 (榎田) 亀山 澄美 (菊岡) 滝口 洋子 (中山) 矢倉 靖子 (佐々田) 高尾 幸江 原田 実能 神谷 達也 河原 雅彦 藤井 一将 三藤 裕子	56年卒 中畠 真治 佐々木 博章 藤井 康雄 持井 由乃 飯田 泰弘	H2年卒 甲斐 雅之
27年卒 助迫 邦利					57年卒 長谷川 陽一 高尾 尚志 神部 育也 松田 吉紀 牧山 裕子 (重政) 鎌田 純子 (中尾) 川口 千恵子 (松本) 石岡 裕子 (小川) 田邊 禎二 渡辺 俊之	H3年卒 田辺 智也
29年卒 森信 節子 浅野 収 佐藤 詔三	38年卒 西出 元子 (岩川) 佐藤 義雄 渡辺 克彦	44年卒 宮崎 孝直 宮崎 千代子 (松坂) 掛江 実 門田 博文 大本 知治 岩部 和記 岸房 隆行 近藤 宜行 (大元) 西村 文子 (江草)	49年卒 殿元 清司 平川 正志 宮坂 初恵 (福地) 石岡 義章 藤原 和嘉 橋本 雅文 目崎 一登 川角 啓子 (瀬口) 藤原 和明 本宮 正暁 本宮 直子 (海野)	53年卒 菊地 真由美 (桐島) 多田 幸夫		H4年卒 市川 玲 H15年卒 平野 利幸
30年卒 浦上 浩	39年卒 下 勝					
32年卒 石森 行人 松尾 保 (宇佐美)	40年卒 鎌倉 康裕 佐々田 泰宏 小原 匡世 寺岡 暉人 都丸 元恵 (山本) 藪本 達雄 小倉 玲子 (小川)	45年卒 小川 修司 木村 久丹彦 細川 修宏 高橋 宏				
33年卒 服部 保弘						
35年卒 東田 喜輔						

同窓生エッセイ 「絵日記」を始めたきっかけは

昭和52年卒 矢倉靖子（佐々田）

2022年3月から始めて1年10カ月しか経っていない未熟者の私に、今回掲載のお話をいただきまして、まずはお礼を申し上げます。ありがとうございます。

絵日記を始めたきっかけは、コロナ禍の閉塞感の中でマスク作りや刺し子、刺繍などの手作りをしている際、表現の幅を広げるためにInstagramやPinterest(未来の自分のために使うサービス)を利用しているときに、Instagramで「#旅の絵日記あまがいしげこ」という素敵な作品に出会ったことです。

絵日記は楽しいことを絵と言葉で表現し、心が明るく楽しくなるだけでなく、前向きに「人生が豊かに変わる」という言葉に惹かれて、絵日記を始めました。

飽きっぽくていつまで続くかわからないのでいまだに独学中です。図書館で何冊も本を借り、ペンやノートや絵の具など、まずは道具から買い揃えました。最初は、描きたい気持ちがいっぱい、見た風景や物などすべてが絵に見えたくらいでした。2時間が集中できる限界なので、題材さがしから始めて、一日の空き時間で描いています。取り掛かるのが遅くなったときや時間がかかる題材のときは塗るのが翌日になることもあります。締め切りがないのでマイペースで描いています。

何力月か経って少し気持ちが萎えてきた頃、誰の役にも立っていないことに時間をかけていいのか？ 自己主張したくてInstagramやFacebookに載せているのか？と、自分のやっていることに疑問を持つようになりました。

そんな悩みを長女に打ち明けたとき、「もし何か残すならお母さんの絵を残してほしい、楽しみに見ているよ!」。次女からは「デザイナーの自分の友達まで見ているよ!」。さらに友人からは「絵が欲しい」と言われて励まされました。上手にならなくても楽しく描いて続けてみようと思い直し、2022年の年末までの10カ月の間に絵日記や消しゴムハンコを約100枚余、2023年に入って約50枚を描きました。

現在は、「旅の絵日記」や「祭り」などのイベントを描いています。旅行に行ってもどこへ行ったのだったかすぐに忘れてしまう反省から、記録と共に長く楽しんで絵日記にしています。

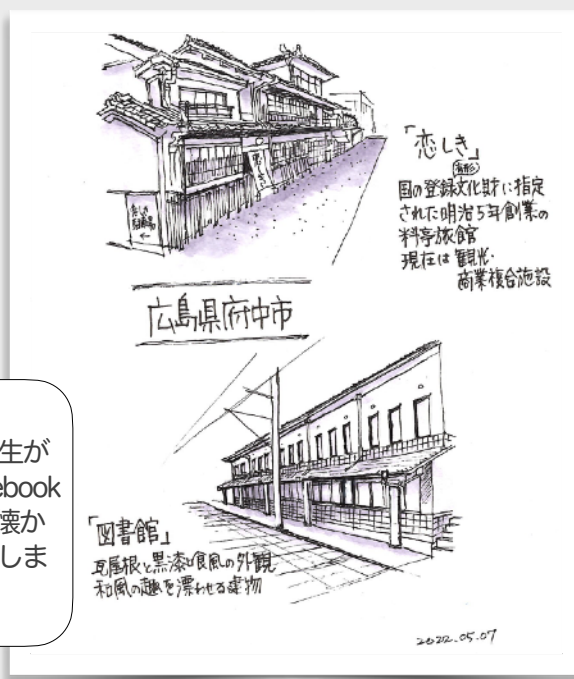
私の絵のコンセプトは「クスッと笑える絵日記」です。いつも笑顔でいたいと思って始めたので……でも人生はそんなに面白いことにまみれていないのが現実ですね！

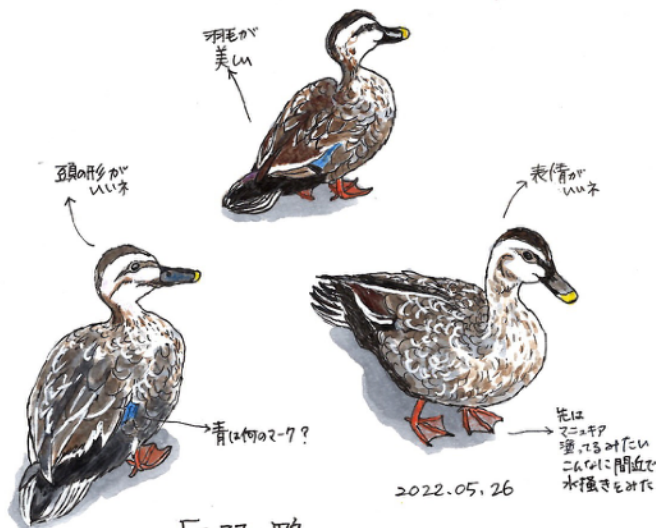
今回は懐かしい府中近辺にちなんだ題材を選んでみたので笑えるところがないのがお笑いです（笑）



【2022.04.04】
最初100均の画用紙に描いていたら、長女がいい紙に描いた方がいいからと画材道具を買ってくれました。

【2022.05.07】
府中高校の同級生が
故郷近辺をFacebook
に掲載していて懐か
しくてスケッチしま
した。





「3羽の鴨」

朝ウォーキング中に会ったカルガモ達
いつもは 洗足流れ (洗足池を水源とし
南東に約1.5kmにわたって続く水路)の中
今日は道を3羽が歩いていて
近付いて写メ撮っても逃げない...
おめし慣れとるす〜
おで「描いて!」と言ってるみたいなので...

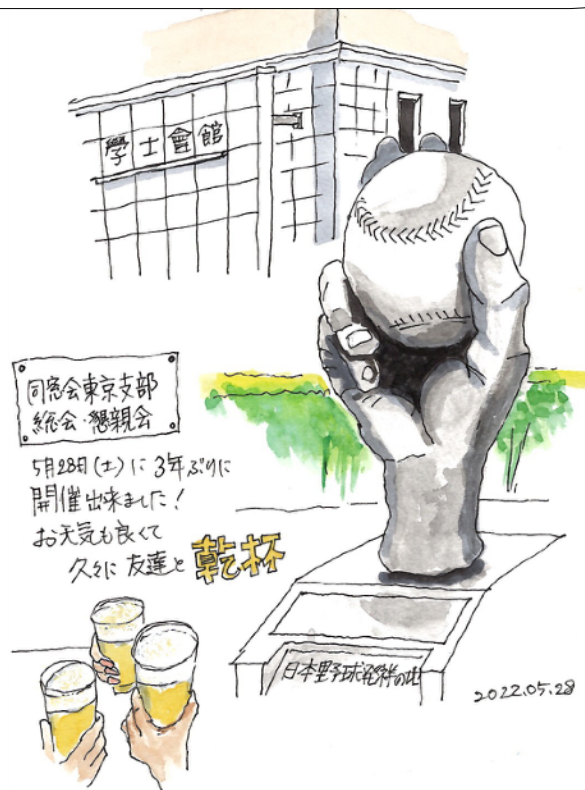
2022.05.26

【2022.05.19】

朝のウォーキング中にカルガモに出会いました。「私たちを描いて♥」と言っているようだったので描いてあげました。

【2022.05.28】

2022年に3年ぶりに東京支部総会・懇親会が開催されました。建て替えのため、学士会館での開催は2024年が最後になります。残念🐱皆さん集まりましょう!



2022.05.28

2022.08

広島県府中市に帰省したら
必ずお土産に買うのは
阿藻珍味(あもれんみ)の

『尾道ラーメン』です。

背脂がたまらんと汁が絶賛!

スナッチについて
尾道の道の中に『道』があることに
気づきました! お洒落ですネ

※阿藻珍味の社長さんに尋ねたら
浄土寺(尾道)の多宝塔のイメージ
とのことでした。



【2022.08.07】「お土産」

阿藻珍味の「尾道ラーメン」
『道』の字に浄土寺の多宝塔があります。
描いていたら気づきました。
今度お買い上げのときは皆さんも見てみて
くださいね。オシャレですね〜

阿藻珍味の社長とInstagramで繋がって多宝塔
と確認しました。
(決して阿藻珍味の回し者ではありません私)

【2022.08.25】「無花果」

まだ高校生の頃、実家に無花果(いちじく)の木があり、毎日5個食べるのが楽しみでした。

その頃は親が鳥や蟻から実を守ってくれていたとは知らず、そして自分自身も親に守られていたとは露知らず……まさに反抗期でした。

そんなことを懐かしく思いながら、スーパーで買った無花果を描いてみました。

まさに「ふるさととは遠きにありて思ふもの」



2022.8.25

同窓生エッセイ 音楽と自然に癒されてただいま陶芸家中

昭和44年卒 西村文子（江草）

今回有難いことにこの記事に依頼され、卒業アルバムを出してみました。府中高校での自分の高校生活を思い出しますと、ほんわりと3年間を過ごしたように記憶していますが、なんとオーケストラの音楽部と陸上部の写真にしっかりと写っています。



音楽部は、入りたての新入生を、8月には本番にのせるというスゴ技の早志先生と出会い、幸せな時間を過ごしました。記憶にある演奏した曲は、ヘンデルの「水上の音楽」～これは演奏会の1曲目に必ず演奏していました。

～他には「威風堂々」、「能面」、「トッカータとフーガ」など。

今でも演奏した曲は癒しの曲となっています。

と、ここまでは普通の高校生活ですが、陸上部では中学生のときにまたまた大会で記録が出てしまい、「試合のときだけでいいので来てほしい」と言われてその気になったのでした。しかし、爽やかな空気の中での活動は、今思い出しても気持ちの良いものでした。

大学4年間を、東京で過ごしましたが合唱漬けの日々。そして卒業して一度は実家に帰りましたが、また20年弱東京暮らし。東京は私にとって第二の故郷です。

その後は札幌と江別暮らしが35年弱になります。そしてやはり合唱漬けの日々。3人の子供がいますが、その子たちは今が子育て真っ最中です。

江別市は、煉瓦の土の採れるところです。道庁の外壁などに使用されていますが、現在では400棟以上の煉瓦造りの建造物が保存されています。そして、江別セラミックアートセンターでは陶芸をするための施設が充実しており、江別に越してから通い詰めるうちに20数年が経ち、現在では「北海道陶芸会」という陶芸家集団に在籍しています。

札幌市は、米国オレゴン州ポートランド市と友好都市の関係にあり、私たちHPS～北海道陶芸会～とOPA～オレゴン陶芸家協会～とは友好関係を深めています。

2019年5月、ポートランド日本庭園展NORTHERN LIGHTSの展覧会に招待出品しました。また、今現在（2023.10.21～11.5）、札幌芸術の森にて、北海道陶芸会55周年記念展覧会を開催しています。私の作品は、粉引鎬花入「祥」（高さ46センチ）

北海道の気候は四季の移り変わりがはっきりとしています。春の小さな花々、夏の爽やかな空気、秋の紅葉、冬の雪降りなどに癒されています。現在の合唱と陶芸家としての活動に、忙しくも幸せなことだと感謝している日々です。



母校への貢献について

第16号11ページでもご紹介しましたが、東京支部では、恩師および卒業生の著作（絵画・彫刻・イラスト・写真・書・音楽など）を高校図書館に寄贈する活動に取り組んでいます。今年度は下記の7作品を高校図書館に寄贈致しました。

東京支部のみならず、広く府中高校同窓会会員に情報提供を呼び掛け、作品情報を収集しています。

ご自身や身の回りに、著者や作品情報をお持ちの方がおられましたら、どうかお知らせください。
連絡先：sodasoda005@gmail.com（総務・企画担当 小田昌一 昭和50年卒）



著者	書名	出版社	発行年	卒業年
藤村宏幸	バイオマス 究極のゼロエミッション	株式会社海象社	2004	昭和26年
藤村宏幸	大転換期の中国環境戦略	桜美林大学 北東アジア総合研究所出版	2010	昭和26年
1955年、大阪大学工学部卒業。同年株式会社荏原製作所に入社し、主に工場経営・経営企画に従事、1988年代表取締役社長に就任。事業領域を「環境ビジネス」に絞り込み、ゼロエミッション型技術の開発・事業化を積極的に推進。その後名誉会長に就任。国際連合大学ゼロエミッションフォーラム会長、日本環境衛生工業会会長、日中経済協会副会長、日本産業機械工業会副会長などを歴任。現在、東京備後の会会長。1992年、藍綬褒章受章				
羽仁 礼	謎解き「都市伝説」	彩図社	2022	昭和51年
本名：松岡信宏 島根大学文理学部卒業、1981年1月から2021年3月まで外務省に勤務。アラブ諸国を中心とする在外公館勤務の傍ら、数々のミステリー・スポットを実際に訪問する。また羽仁礼などの筆名で、超常現象に関する著書多数あり。ASIOS（超常現象の懐疑的調査のための会）の創設会員。一般社団法人 超常現象研究センター主任研究員				
佐藤真澄	生まれかわる ヒロシマの折り鶴	汐文社	2023	昭和57年
本名：佐藤美由紀 学習院女子短期大学（現・学習院女子大学）卒業後、上場企業に就職するも「何かが違う」気がして半年後に退職。その後、海外放浪の旅に出るなどして自分を見つめ直した結果、「目指すところは物書き」に辿り着く。25歳でフリーランスに。ベストセラーになった『世界でもっとも貧しい大統領ホセ・ムヒカの言葉』など著名人のインタビューをはじめとする人物ルポや旅記事、社会レポートなどを執筆。児童書の執筆も行い『ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾』で、令和2年度「児童福祉文化賞（出版物部門）」を受賞				
中園久美子	[完全攻略] オンライン・WEB面接	ダイヤモンド社	2021	昭和57年
中園久美子	履歴書 職務経歴書の書き方	日本実業出版社	2023	昭和57年
旧姓：山手久美子 広島県の経営専門学校卒業後、NEC勤務を経てパソコン講師として活動。子育てや夫の転勤に伴い、何度も転職を余儀なくされる。現在はキャリアコンサルタントとして、行政機関、高校や大学において就職支援や面接指導を行っている。 また、大学の非常勤講師としてビジネスマナーや秘書学の講義も行っており「わかりやすい」、「実践しやすい」といったご意見も多数寄せられる。				
河原雅彦	Do You Remember Him ?	自主製作（音楽CD）	2023	昭和52年
派遣社員をやりながら音楽活動を行う。2011年にバンドを立ち上げ、制作したアルバムをアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアのコミュニティFMに音源を送り好評を得る。特にアメリカ人リスナーに訴求すべく、ナッシュビル在住のアメリカ人シンガーを起用。現在は、アメリカを中心に配信やプロモーションを行っている。				

本部同窓会の様子

令和5年11月12日曜日

府中商工会議所で4年ぶりの本部同窓会総会が開催されました。2024年4月1日、本部長は細川修宏さん（高21回・昭和45年卒）が退任され、今川智巳さん（高22回 昭和46年卒）が就任されることが決まりました。

参加者は378名で、古稀を迎える高23回生（昭和47年卒）が主幹事、高校音楽部や府中シティオーケストラの演奏だけでなく、平成14年卒の松岡風人さんが尾道で開業された「しまなみブルワリー」のクラフトビールも登場しました。



海外コンペで数々の授章歴を誇る松岡さんは、上下の米や瀬戸内産のレモンも原料に使用しています。しまなみブルワリーのHPはこちら



出席者全員に東屋のアイス券が配られ、懐かしい味に舌鼓をうちました。馬屋原さん、ありがとうございます。

【来年度の各支部総会・懇親会の予定】

広島支部 令和6年4月頃

関西支部 令和6年6月頃

本部同窓会 令和6年11月10日

令和6年度の東京支部総会・懇親会のご案内

日時：令和6年 5月25日土曜日 受付14時～

開会：14時30分～17時迄

会費：7,000円 平成15年以降卒業の方は5,000円

※学生、介護者（付き添いの方）やお子さまは無料

会場：学士会館 千代田区神田錦町3-28（右図）

学士会館は再開発等の事情で、令和7年1月から解体されます。建物の完成は2029年以降の予定です。次회가最後の学士会館での開催となりそうです。

お申し込みは各学年の年次世話人、又は右記Googleフォームから、又は同封の返信ハガキで4月13日までに



アトラクション

小川由美子さん（昭和53年卒）のオカリーナコンサート

小川由美子（オカリーナ）

～プロフィール～

広島県出身。1992年より平本孝雄氏に師事。

1997年、カンターレオカリーナアンサンブルの一員として、カーネギーホールでの演奏に参加。

故郷広島で10回のハートフルコンサートをはじめ、各地で演奏活動を行い、テレビ、ラジオに出演。

2008年から、毎年石岡市ギター文化館コンサートシリーズに出演。

2009年1月、台湾で開催された中日陶笛交流会のゲストとして演奏。

東日本大震災復興支援・三越劇場・ポピュラーハイライト連続出演、

他、数多くのコンサートに出演、N響団友オーケストラをはじめ、有名音楽家との共演多数

2016年、台湾で開催された国際陶笛名家交流会にゲスト演奏。

2010年、7月1stアルバム『心音』、

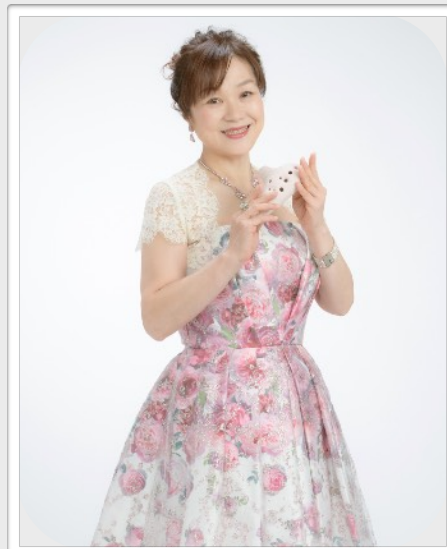
2014年、11月2ndアルバム『こころうた"愛"』をリリース。

カンターレ・オカリーナ選任講師として茨城県内13カ所で指導。

2017～2020年、台湾陶笛芸術顧問を務める。

2018年11月、東京労音主催・東京文化会館『風のメリーゴーランド』音楽会に出演。

ギター文化館音楽教室オカリーナ講師



通信連絡賛助金について（お願い）

会報を発行する以前、東京支部では年に1度の総会・懇親会の出席者から頂く会費の中から、総会費用（会場費・飲食費・通信料費・ゲストへの謝礼）と支部運営経費を賄って参りました。

そのため、通常の宴席と違い飲食部分に充てられるのは頂いた会費の5割程度でしかなく、出席者の満足感を得にくい状況でした。

そこでまず会報を発行し、東京支部を身近に感じて頂けるようにし、東京支部の各種活動への賛助の意味で、任意で「通信連絡賛助金」という制度を設けました。以来17年、毎年150名近くの方から30万円近くの賛助金を頂戴しています。趣旨にご賛同頂けましたら、どうかよろしくお願い致します。

お一人様 一口1000円/年（何口でも可）です。

同封のゆうちょ銀行の払込用紙をお使い頂き、支部の口座へお振り込み

払込用紙が無い場合 ゆうちょ銀行 口座番号00280 1 82136

名義： 広島県立府中高等学校同窓会東京支部 ※お名前・卒業年をお忘れなく。

発行人：長谷川陽一 57年卒（高33回生）名簿・広報担当副幹事長（同窓会の疑問やご不安・ご要望など、お気軽に）

連絡先 yo_hase@mac.com 080-4001-8024 〒112-0011 東京都文京区千石2-44-16

